



太田君結婚披露宴にて！



河野

今年の夏は冷夏だったとは言え、9月一杯はそれでも日中は30度まで上がる日もありましたが、10月に入ると、さすがに朝晩がめっきりと冷え、布団が心地良い季節になってきました。先日の「中秋の名月」の日は、まん丸お月様がとてもきれいで、しばしお月様に見とれてしまいました。折角だからデジカメで撮ったものの、安いカメラでは思うように撮れず、一眼レフのカメラが欲しい！と思い始めたこの頃です。

さて、写真は廿日市店で頑張ってくれている太田剛史君の結婚披露宴での写真です。全員で結婚式・披露宴に参加しお祝いをしました。入社前から新婦の「悠美さん」と付き合っていたようで、一年前ごろ太田君の口の周りが荒れて病院に行ったりしており、「そりゃどうしたん？」と聞くと、「ヘルペスです！」との事。どうやら、彼女との付き合いが上手く行かなかったことが原因のようで、それを見かねた私が「太田君、そんなになるぐらいなら駄目で元々、結婚してくれって言ったらどうだ！世の中の半分は女じゃ。何も彼女だけが女性じゃない。」と言うと「駄目です！僕には彼女しかいません！」との言葉。その苦しみを乗り越えて結婚に漕ぎ着けた訳ですから、二人で力をあわせ幸せな家庭を築いて欲しいと願う次第です。原稿を書いている今は、イタリア〜フランスへ新婚旅行中！一生に一度の事ですから、しっかりと楽しんできてもらいたいと思っております。太田君に会ったら「新婚旅行どうだった？」とつついてやって下さい。きっと真面目に答えます。(笑)

うーん、次なる独身者が入社しないと、社内での結婚披露宴に参加する機会もありませんし、新入社員を入れないと平均年齢が上がるばかりと、高齢化が進む我社です。(啓)



# 特集

## 窓の“防音・結露”対策!

今回の特集は、窓の「防音・結露」対策です。寝室で寝ていると、「どうも外の車の音が気になって」とか、「カーテンの下から冷たい風がスースーして」なんて声を時折聞く事があります。特に防音対策、つまり、窓の遮音性能を上げるにはガラスの交換ではなく、二重窓にする事が最も効果的です。簡単に取り付けができる商品もありますので、ご紹介を兼ねて、それではちょっとお勉強〜

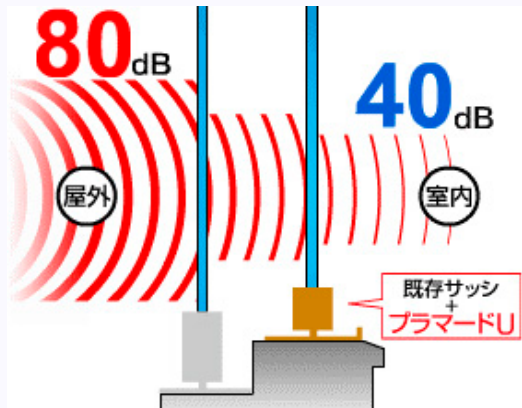
### 1.騒音について

一般的に快適な住環境と言われている騒音のレベルは40dBが目安です。右の表に騒音の目安を示しましたが、交通量の多い道路では80dBもの値となっています。我が家も家の前に山陽本線が通っており、電車が通る時はテレビの音も聞こえなくなる程です。幸い、寝室は、線路の反対側なので余り気になりませんが、我が家に泊まりに来た人の中には、うるさくて眠れなかった人もいます。

90dB非常にやかましい	(騒々しい工場内)
80dBかなりやかましい	(交通量の多い道路)
70dBやかましい	(騒々しい街頭)
60dBやかましい	(静かな乗用車内)
50dB静か	(静かな事務所内)
40dB静か	(昼間の静かな住宅地)
30dB非常に静	(夜の静かな住宅地)
20dB非常に静	(木々の葉の触れ合う音)

### 2.窓の遮音性能

一般に掃き出しサッシで使われている5mmガラスのサッシでは、80dBを55dBに改善する性能があります。しかしながら、先程の表のように55dBでは、まだ”やかましい”の範囲に入っており、とても快適な住環境とは言えません。皆さんのお住いでも”夜の車の音が気になる”と思われる方は、改善の余地が十分にあります。



### 3.簡単な遮音対策

簡単に窓の遮音性能上げるには、ガラスを厚くすることではなく、窓を二重にする事が効果的です。右の図のように、既存のサッシの内側に樹脂製のサッシを取り付けることで、80dBを快適な住環境と言われる40dBまで改善できるようです。先日も、長らく車の騒音で悩まれていたお宅に、この内窓を取り付けさせていただきましたら、期待以上の効果が有ったと喜んでくれました。



ﾌﾞﾗﾏｰﾄﾞU (YKKAP製) 1600×900  
価格目安 4万円(取付費込み)

### 4.結露対策(断熱)

住まいの熱の一番の弱点は窓。住まいの熱の37%が窓から逃げ出しています。そして結露がその証拠。この内窓を取り付けるだけで、窓際のヒエヒエ感がなくなり結露も減少。寝室や居間の寒さ・結露対策に最適です。

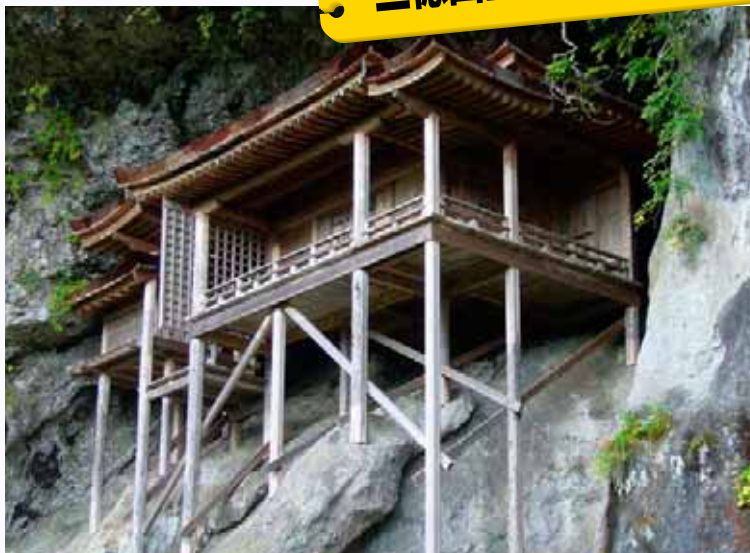
これから寒くなる季節！寒さ対策は万全ですか？給湯器の点検や、給水・給湯管の凍結防止のための保温など、ちょっと気になることがございましたら、お気軽にご一報を！！



# 行ってきました 三徳山三仏寺 投入堂



## ▼投入堂



私がこのお堂のことを知ったのは、恥ずかしながら「建築士の試験勉強」でした。日本最古級の木造寺社建造物として、建築士の試験ではよく出題されており、以後、鳥取で近くなのだから、できれば行ってみたいと、家内共々思っていました。

先日、三男(米子在住)に会いに行く折に時間が取れ、庄原で前泊し、やっと念願かなって行ってきた次第です。いやー、さすがに修行のために開いたとのことで、その道はなかなかでありました。



▲クサリ場に喜ぶ?

入山手続きのところで、靴の確認(普通の靴は不可)そして、「この山への入山は一人では駄目です。できれば、この方が一人で来られたので、ご一緒してもらえませんか?」と言われ、「格別急ぐ事ありませんし、二人より三人の方が楽しいでしょう!」と三人で登る事に。そして、登り始めると、いきなりの難所。木の根を持たなければ登れないほどの急坂を暫く登り、そして、写真の「クサリ場」へ。(かつてのオテンバ娘は嬉しそう!)

登りつつ、ご一緒した男性と話をすると、周南市から一人で来られたとか。何とお年は74歳!山の会に入っておられ、日頃から山に登っておられるとか。ゆっくりながらも、しっかりとした足取りで何とか投入堂に到着。

近くで改めて見てみると、そのお堂の下は木で見えないものの、まさかさまの崖!入山口で聞いた話によると、強引に投入堂に近寄り、命を落とした人もいますとか。1000年も前に何故こんな場所に建てたのか不思議な思いで見とれてしまいました。しかしながら、建築に携わる者として、建築の視点から見てみると、「流造」と言われる神社建築様式。屋根は檜皮葺き。束の柱は岩の上に直接乗っており、その束柱で建物を支えている。写真では分からないかも知れませんが、何本かは継がれており、改修の度に腐食した部位の補修をしている様子が伺えました。

最近、国が「200年住宅」と、住宅の長寿命化への政策を打ち出していますが、木造建築物は、この投入堂のように、適時に補修すれば1000年も維持できるわけですから、国の政策も「今更」と言う感もしました。改めて、木造建築の良さを考えさせられる建築物でした。

さて、下り坂は気を付けてゆっくりと下山していたのですが、足を滑らせ、反射的についた手を傷めてしまいました。同行した74歳の方は何事も無く下山され、まだまだ足腰を鍛えなくてはと反省至極!帰りに、白壁の町「倉吉」でお酒と醤油、そして湿布葉を買って帰りました。

中国地方は良いところですね!近くで良い所がありましたら教えてください。



▲倉吉の白壁

## \*木構造その後\*



4月にこの住む通信で「木構造の試験」を毎月行う事をご紹介しましたが、先日、6回目の試験を無事終え、一応この一冊を読み終えた事となりました。毎月の試験は適度な緊張感があり、若い4人は面白くなかったでしょうが、これからの仕事に役立つ事は間違いありません。

私と、竹内常務が交代で試験問題を作り行ったのですが、「結局一番勉強したのは、社長と常務か？」なんて思うほど、問題を作るのも思った以上に大変な事でした。

それにしても、西村・宮本・太田の三人は建築士の有資格者です。皆さんから見れば、建築の全てを知っていると思われるのも当たり前の事ですが、ご存知のように「資格試験」の知識とは、試験が終ればすぐに忘れてしまうものです。そこで、「木構造」について何か疑問に当たった時に調べる本として選んだ次第です。是非、これからの実務で活用して欲しいと願っております。

さて、今年も半期が終わり、10月から下半期となります。設備工事をやっていた、私や常務（浄化槽設備士）・里（設備士）・西村にとっては設備は平易のように思っていますが、他の者にとっては未知の世界です。新しい知識を吸収するためにも、下半期は「建築設備の試験」をやってみようかと考えております。

先日、朝礼でこの事を話したら宮本君が”いやーな顔”をしていたので、さらに意欲が沸いて来ました。（啓）

## ★イベント案内★

### 『オリジナルの年賀状作りませんか！』

#### 版画教室（ゴム版画）

日程：11月14日(土) 午後1時半～4時

会場：廿日市店2F

参加費：¥500.-

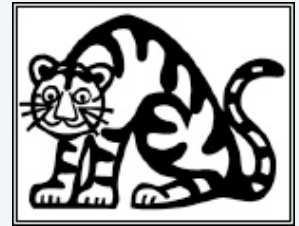
定員：10名※定員になり次第申し込み受付を終了いたします。

申込先：フリーダイヤル0120-505-375まで

講師：木村 毅さん（大竹市本町在住）

～プロフィール～ 元大竹市立玖波小学校校長、美術教師への版画指導など

★スタッフ一同お待ちしております☆



来年の干支は「寅」

## 後記

秋の夜長と言えば「読書」と決まっています。残念ながら、夜更かしのできない私は、早朝に読書をしており、最近「坂の上の雲」を再び読み返しております。家内も、「龍馬がゆく」を読み始め、夫婦の会話も自然と坂本龍馬の事やその時代の事など、ちょっとレベルアップ？しております。いずれにしても、共通の話題を持つことはいいものだと、今頃になって知った結婚28年目の夫婦であります。（啓）

「住まいの困った」は  
ゲインハウス  
大竹店・廿日市店共に

フリー  
ダイヤル

0120-505-375

ホームページ  
アドレス

<http://www.geinan-hause.co.jp>

最後までお読み頂きありがとうございました。次回は1月発行予定です。（啓）